

昭和34年6月25日

千代田区役所

発行

0151
九段33局 8531

毎月1回

千代田区報

No. 71

就任の辞

千代田区長



市村駒之助

千代田区長就任に当り、区民の皆様につつしんでご挨拶申し上げます。今回、はからずも私のとき浅学非才のものが、名譽ある千代田区長に選任されましたことは、身に余る光榮と、感謝にたえない次第であります。この榮譽ある職責を

就任に際して

千代田区
議会議長

石和田 鎬



親愛なる区民の皆様、千代田区議会議長就任の御挨拶を申し上げます。不肖図らずも、五月二十八日開催の臨時区議会におきまして、千代田区第十六代の議長に当選する光榮を得ました。私といしましては、望外の喜び

でございます。これひとえに区民の皆様御支援の賜と衷心よりお礼を申し上げます。私もとより浅学鈍才でございます。重大問題山積する区政を、果して円満に理會的に運営できるやいなやといふ点に思ひをいたすとき、まことに内心じくじたるものがございましたが、幸いに、区長選任をはじめとする千代田区政にとりまして誠に重大な問題を円満裡に決定いたしました。区政を軌道に乗せることが出来ましたのは、私のもつとも喜びとするところであり感謝するところでございます。

今後私は、この感謝を深く胸に刻み、公正無私、最善の努力を払つて議会の円満な運営を図り、もつて千代田区政伸展のため、犬馬の

労を尽す覚悟でございます。何卒区民の皆様の一層の御指導と御鞭撻を切にお願い申し上げます。私の就任御挨拶といたします。



すずらん通りの七夕まつり (写真)

新区長に市村駒之助氏

助役 武川 敏雄

収入役 北木 熊吉の両氏

六月二十三日に開かれた第四回区議会臨時会で、市村駒之助氏を、新千代田区長に選任することを正式に決定した。又、引続き二十四日の継続会で、武川総務課長を助役に、北木土木課長を収入役にそれぞれ区議会の同意を得て決定した。

区長選任に関する公表

千代田区告示第十七号

公表

地方自治法施行令第二百九条の八第二項の規定に基き、昭和三十四年六月二十三日付、昭和三十四年第五回東京都千代田区議会臨時会において選任された。東京都千代田区長の、氏名、経歴及び選任の経過を、次のとおり公表する。

昭和34年6月23日

千代田区長 市村 駒之助

昭和34年6月23日選任された。

東京都千代田区長の氏名、経歴及び選任の経過

一、氏名 市村駒之助

二、経歴

明治23年5月15日 長野県小

県郡別所村に生る。

会常務に就任

昭和28年7月 千代田区監査委員に就任

昭和30年7月 千代田区監査委員に就任

昭和31年5月 褒章条例により黄綬褒章を授与せらる。

昭和32年8月 千代田区監査委員に就任

昭和34年6月16日開催の本年第四回区議会臨時会において、区長候補者決定のため、議員寺崎松太郎外七名の提案にかかわる議員提出議案第三号をもつて、前区長村瀬

選任の経過

(候補者の決定)

昭和三十四年六月十六日開催の本年第四回区議会臨時会において、区長候補者決定のため、議員寺崎松太郎外七名の提案にかかわる議員提出議案第三号をもつて、前区長村瀬

武川助役経歴



氏名 武川敏雄
生年月日 明治44年11月4日
本籍 東京都千代田区麹町五ノ六

住所 東京都千代田区麹町五ノ六
最終学歴 明治大学専門部政治経済学科卒業

職歴 昭和7年12月 神田区役所臨時

清を、区長候補者として決定する旨の議案が上提され、議長において表決に付した結果賛成八票、反対二十五票の投票をみ、本案は否決された。

続いて、議員竹島榮一外二十六名の提案にかかわる、議員提出議案第四号が上提され、区長候補者に、市村駒之助を決定する旨の議案について、議長において表決に付した結果、賛成二十五票、反対八票の投票をもつて可決され、ここに、区長候補者は、市村駒之助と決定した。

(都知事の同意)

六月十六日開催の、本区議会臨時会において、区長候補者

として、市村駒之助が決定されたので、六月十七日、区議会議長において、地方自治法施行令第二百九条の六の規定にもとずき、市村駒之助を東京都千代田区長に選任するについて、東京都知事の同意を求め、文書を持参し、提出したところ、六月二十三日付東京都知事より区議会議長宛、市村駒之助を千代田区長に選任することについて同意する旨の文書を受理した。

(区長の選任)

昭和三十四年六月二十三日、本年第五回区議会臨時会において、市村駒之助を、東京都千代田区長に選任した。

北木収入役経歴



氏名 北木熊吉
生年月日 明治36年4月7日
本籍 秋田県平

昭和27年5月 二級に昇叙
昭和27年10月 教育委員会庶務課長
昭和29年4月 臨時区庁舎建設部庶務課長
昭和30年12月 財務課長
昭和31年7月 総務課長

住所 麻郡里見村東里十三町六十六番地
最終学歴 早稲田高等学校土木科卒業
職歴 昭和三年五月 北豊島郡高田町役場雇

昭和21年3月 神田区役所土木課長
昭和22年3月 千代田区役所神田支所土木課長
昭和22年7月 千代田区役所土木課長
昭和22年12月 二級に昇叙

33 年 度 下 半 期

区 財 政 の あ ら ま し

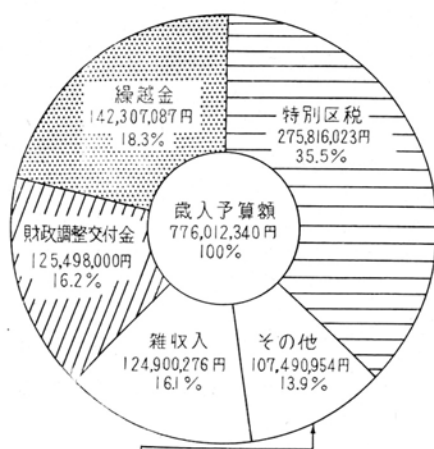
このほど、昭和33年度下半期（昭和33年10月1日～34年3月31日）の千代田区の財政事情が明らかにされた。これによると、本年度最終予算額は、776,012,340 円となり、今

期の重な新規事業としては、箱根厚生施設建築費、九段中屋内体操場建設費、富士見小六教室建設費、国民健康保険実施準備費など12点があげられる。

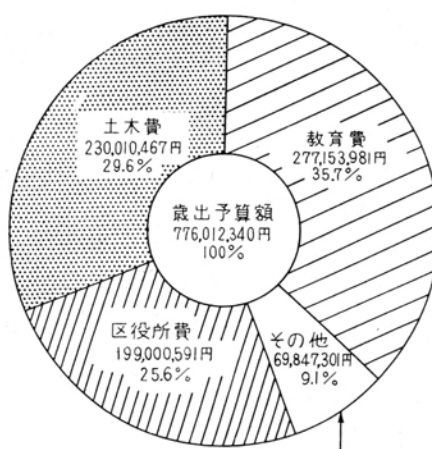
33 年度最終予算額科目別図表

(昭和34. 3. 31現在)

(歳 入)



(歳 出)



都支出金	50,272,874円	6.5%	議会費	19,263,525円	2.5%	公会堂費	4,093,314円	0.5%
使用料及手数料	29,426,480円	3.8%	諸支出金	14,389,450円	1.9%	選挙費	3,593,110円	0.5%
寄附金	13,641,500円	1.8%	商工観光費	10,217,588円	1.3%	準備費	2,000,000円	0.3%
公営企業収入	12,000,000円	1.5%	徴税費	9,906,822円	1.2%	監査員費	477,880円	0.1%
財産収入	2,150,100円	0.3%	社会施設費	5,905,612円	0.8%			

主 な 新 規 事 業

箱根厚生施設建築費及初度調弁費	1,366万余円
九段中学校屋内体操場建設費	1,456万余円
富士見小学校六教室建設費	1,637万余円
練成中学校、番町、麹町、佐久間各小学校鉄筋造修費	1,305万余円
学校教育内容の充実費	844 万 円
区民社会福祉施設費	850 万 円
子供遊戯道路施設費及青空保育車購入費	108万余円
中小商工業者融資対策費	2,169万余円
御成婚記念奉祝塔及街頭裝飾費	36万余円
千鳥ヶ淵周辺及ポート場周辺の美化整備費	46万余円
千代田区史の印刷費	290万余円
国民健康保険実施準備費	298万余円

区民負担昨年より二〇二円減る

本期末の区民の区税負担状況は、次のとおりで、昨年の同期と比較すると、一人あたり二〇二円、一世帯当り八二二円、それぞれ減少している。

区民負担の概況 (34年3月31日現在)

本期末における国民の区税負担状況は左表の通りでありまして、昨年同期と比較いたしますと区民一人当り二〇二円一世帯当り八二二円の各々減となっております。

特別区税予算額	本期末の人口	区民一人当り負担額	本期末世帯数	区民一世帯当り負担額
二七、八六〇、三三三円	一三〇、九八八人	二、二二〇円	三六、〇八七世帯	一〇、七三三円

